

POPs って危険なの？

POPsは環境中で分解されにくく、また、油に溶けやすい性質を持っています。そのため、POPsが野生生物の体の中に取り込まれると、脂肪に蓄積され、継続的に摂取し続けることにより体内のPOPsの濃度が徐々に高くなっていきます。

また、生物濃縮によって、植物プランクトンや動物プランクトンよりもそれを食べる小魚、さらにそれを食べる大型の魚と濃度が高くなっていきます。そして、捕食者の頂点にいるような野生生物、例えば肉食の哺乳類（陸上ではホッキョクグマ、海ではシャチやイルカなど）や猛禽類（ワシやタカなど）、さらには人では、

その生態系のなかで最も体内の濃度が高くなるのです。しかも、赤ちゃんに脂肪分の豊富な母乳を与えるような哺乳類では、小さい頃からPOPsにばく露されることになるのです。

こうして長い間POPsにばく露されるため、人や野生生物の生殖器の異常や奇形の発生、免疫や神経への影響などの悪影響をもたらす可能性があるとして指摘されていますが、どのようにして発生するのかなどまだ科学的に未解明の点がたくさん残っています。

今後、POPsによる影響について、さらに研究が進むことが期待されています。

